

○○○の×××分析

-△△△を対象に-

題名は14pt、副題は10.5pt、中央揃えでMSまたはJS明朝

<<1行あける>>

夏目鴉外*・芥川治**
(* □□大学・**◇◇研究センター)

報告者名、所属は10.5pt、中央揃え
*印は全角で上付1/4倍、報告者が1人もしくは報告者全員が同じ所属の場合、*印は不要

<<1行あける>>

I 見出し<<10.5pt, ローマ数字>>

<<1行あける>>

1 小見出し<<10.5pt>>

わが国の・・・<<本文は、JSないしMSの明朝体で10.5pt>>・・・。
・・・<<句点は丸(。), 読点はカンマ(,)>>・・・である^{注2)}。

II 見出し

1 小見出し

・<<図表は、文字が明瞭に読めること>>・



第1図 ○○の推移

資料：『○○年報』・・・

ページの書式

左余白：17mm、右余白17mm、上余白：27mm、下余白：22mm

ページ番号はつけない、A4判、42字×40行

<<1行あき>>

[注] <<10.5pt>>

注1)・・・<<注は、JSないしMSの明朝体で10pt>>・・・。

・・・・・・・・・・

注2)・・・・・・・・・・

<<注は、文中の 注1), 注2) で通し番号をつける。>>

<<1行あき>>

[引用文献] <<10.5pt>>

[1] 著者名(出版年西暦、例 2001)：「題名」, 『雑誌名』, 34(5), pp.10-19.

<<巻号は、単に数字のみを表記>><<頁数表記は、英和辞典のp. を参照のこと>>

[2] 著者名1・著者名2(1999)：「章名・・・・・・・・」, 編著者名(編), 『書名・・・・』, 出版社名.

<<JSないしMSの明朝体で10pt, 句点はピリオド>>

2行目以降は左端を2文字あけること

この見本は大会資料用です。大会後に報告論文として投稿する際には、当会ホームページ<http://fmsj.ac.affrc.go.jp/>上の学会誌掲載用の見本にしたがって、写真製版ができるように書式を必ず替えてください(図表と文献は、はじめから学会誌掲載用の見本になって作成した方が報告論文の提出が容易です)。